

2023 年度 事業計画

役員会

目的 地域に必要とされる助産師の資質向上を図り、地域母子保健活動に貢献する場を拡大する

| 目標                           | 計画・具体策   | 評価 |
|------------------------------|--|----|
| <p>1. 地域での活動支援を強化</p>        | <p>1.</p> <p>1) 行政、他団体との関係性を深める</p> <p>(1) 行政、他団体の会議、研修会への積極的な参加</p> <p>(2) 奈良県母性衛生学会での演題発表支援</p> <p>(3) 日本助産師会学会での演題発表支援</p> <p>2) 実践技術力の向上(助産・保健指導・観察力)</p> <p>(1) 実技を伴う研修の充実 年 1 回実施</p> <p>① 講師一当会助産師</p> <p>3) 三部会の交流を活発にする</p> <p>(1) 部会間の連絡会議を実施</p> <p>(2) 交流会を企画</p> <p>4) 災害時の地域協力と対応</p> <p>(1) 災害時の会員情報確認システムの見直し</p> <p>(2) 県内行政と医療機関との連携を確立する</p> <p>① 行政との会議および訓練へ積極的に参加する</p> <p>② 助産師会内での役割を担当の明文化</p> <p>③ 災害時活動支援物品の保管(衛生材料・ビブス等)</p> <p>(3)地域の住民対象に、母子保健イベントの開催</p> <p>(新型ウイルス感染症感染法 5 類引き上げ後)</p> |    |
| <p>2. 助産師会組織運営基盤の整備</p>      | <p>2.</p> <p>1) 会員数に伴った組織編成の見直し</p> <p>2) 理事数の削減、委員会、係の見直し(業務内容の整備)</p> <p>3) 定款・規約の見直し</p>  |    |
| <p>3. 組織強化のために、魅力ある体制づくり</p> | <p>3.</p> <p>1) 会員獲得(目標 140 名)</p>   |    |

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p>(1) 委託訪問指導者を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 初めて訪問活動される会員に物品の貸し出し</li><li>② 会員のための訪問物品リサイクルを考案</li></ul> <p>(2) 表彰者推薦</p> <p>会長賞 2 名 県看護功労 2 名 読売新聞医療功労 1 名</p> |  |
|--|---|--|

2023 年度 事業計画

助産所部会

目的 1.より安全な助産所への発展

2.開業助産師の資質向上と社会的地位の確立

3.災害時には地域の母子支援の拠点となる

| 目標  | 計画・具体策  | 評価 |
|---|---|----|
| <p>1. 嘱託医療機関との連携整備と契約継続</p> <p>2. 有害事象ゼロと事故防止</p> | <p>1.</p> <p>1)日頃より嘱託医との間で、様々な状況を想定した連携や始動方法について具体的に協議し共通理解・合意しておく<br/>(各助産所が円滑な連携ができるように書類の作成・整備・実践、顔の見える関係作り、可能な限り健診に同行)</p> <p>2)後方支援病院等の研修受講<br/>奈良県産婦人科実地臨床研究会・奈良医大周産期症例研修会への参加(必須)</p> <p>3)奈良県周産期医療協議会への参加<br/>母子保健推進会議への参加</p> <p>2.</p> <p>1)助産業務ガイドラインを全員が同じ認識のもと遂行する為に部会員全員で行う転院搬送事例の症例検討会での症例にかかわる箇所の読み合わせを行う</p> <p>2)包括指示の遵守・各助産所でマニュアルを作成し、助産所安全管理評価時に確認</p> <p>3)3部会による公平性のある助産所安全管理評価を実施(年1回)</p> <p>4)転院搬送全事例について助産所部会長・副部会長・安全対策委員で協議を行い、承認し日助に送信する<br/>安全対策委員より報告を受けた転院搬送事例を部会員全員で症例検討を行う</p> <p>5)産後ケアの事故事例を通して、日頃より様々な状況を想定して、予防策を考え実践する(必要な研修や知識の習得・記録の整備)産後</p> |    |

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p>3. 助産診断能力の獲得・確認</p> <p>4. 災害時に備えて地域の母子支援ができる</p> | <p>ケア時のヒヤリハットを含めて症例検討を行う</p> <p>6)部会員全員の NCPR 更新</p> <p>7)個人情報保護を保護する</p> <p>3.</p> <p>1)アドバンス助産師の取得、更新のための研修受講</p> <p>2)教育委員主催で助産所部会担当研修会実施（2回実施）</p> <p>3)記録(各種管理記録・助産録・マニュアル等)の整備</p> <p>4.</p> <p>1)災害対策委員・助産所部会長・安全対策委員で各助産所の防災対策の実態把握をする為に会議を持つ</p> <p>2)災害時の具体策を部会で検討(フロー作成・備蓄品の確認等)</p> <p>3)災害訓練:部会員の安否確認(SNS)・災害対策委員会と共に災害訓練を1回/年行う(シナリオ又は実施)</p> <p>4)災害研修会の参加</p> |  |
|---|---|--|

2023 年度 事業計画

保健指導部会

目的

地域での母子保健活動が円滑に安全に実施できる力をつけ、幅広く活動できる。

| 目標  | 計画・具体策  | 評価 |
|---|---|----|
| <p>1. 安全で安心な保健指導、母乳育児支援を行う。</p> <p>2. 地域母子保健に携わる助産師として質の向上を図る。</p> <p>3. 都道府県保健指導部会集会、特に近畿保健指導部会集会と連携を図る。</p> <p>4. 地域における行政・関係機関の動向を知る。</p> <p>5. 保健指導部会安全マニュアルを定着させる。</p> <p>6. 訪問事業以外にも幅広く活動を展開できる人材の確保を目指す。</p> | <p>1. 本部の安全管理評価表を基に、部会員が活用できる評価表を検討する。</p> <p>2. 部会員の希望する研修を提案し、教育と共同で研修会を運営する。</p> <p>1)、6/24 宮下美代子先生<br/>「具体的な産後ケアの準備と乳房管理」</p> <p>2)、9/30 奈良県社会福祉職員・坂本純子先生<br/>「どうなってるの？ パパの産休・育休」<br/>「お父さんの最強の応援団になる」</p> <p>3. 各地区研修会の部会集会に参加し、情報共有し、問題・課題の解決に努める。</p> <p>4. 市町村の動向、部会員の活動の状況を把握し指導員の活動の場を確保する。</p> <p>5. 安全対策マニュアルに継続的に追加・修正を行い、部会にて周知する。</p> <p>6. 地域助産師としての活動の場を訪問事業以外に展開していけるように、先輩助産師による技の伝承プロジェクトを企画し、アウトリーチに参入できる人材の確保を行う。</p> <p>1) 妊娠期の関り方</p> <p>2) 産褥期の関り方①新生児・乳児の見方<br/>③乳房管理<br/>④褥婦のメンタルヘルス</p> <p>3) 産後ケアの実際 助産院見学実習</p> |    |

|                    |   |  |
|--------------------|---|--|
| 7.災害発生時の安否確認を適切に行う | 7.災害発生時に部会員の安否を適切に確認できるよう、災害対策係と共同で方法を検討する。 |  |
|--------------------|---|--|

2023 年度 事業計画

勤務部会

目的

助産師会の強みを生かした情報提供を行い、勤務部会員のつながりを図る。

| 目標  | 計画・具体策   | 評価 |
|---|--|----|
| <p>1. 部会間の交流連絡をもち、情報交換をする。</p> <p>2. 部会員のつながりから会員数を増やす。</p> | <p>1.</p> <p>1) 奈良県助産師会勤務部会集会を開催する。<br/>                     (1) R4 年度に引き続き産後ケアについての情報交換<br/>                     (2) 理事会報告などの会の動向を伝える。</p> <p>2) 日本助産師会勤務助産師部会集会の参加を band、ホームページ、一斉メール配信する。</p> <p>3) 研修会などの情報提供を band、ホームページ、一斉メール、三部会だよりなどで月に 1 回は、おこなう。</p> <p>2.</p> <p>1) 教育に携わっている勤務部会員より、助産師学生へホームページ閲覧など案内をしてもらう。</p> <p>2) 助産所に設置している入会リーフレットを実習時に手渡ししてもらう。</p> <p>3) 研修会などで、助産師会の活動をアピールする。</p> |    |

## 2023 年度 事業計画

## 広報委員会

目的 ホームページの編集や三部会だよりの発行・SNS 発信を通して当会の認知向上及び専門的な情報発信による社会的貢献を果たす。

| 目標   | 計画・具体策   | 評価 |
|--|--|----|
| <p>1. 目標:<br/>ホームページを充実させることにより、最新の情報提供ができ、会員の専門性向上のための新しいツールとして定着させ活用を促進することで、魅力ある奈良県助産師会をPRする。</p> | <p>1. 計画:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)部会・委員会・系の依頼を受け、校正・掲載作業を迅速に行う。</li> <li>2)ホームページパトロール(各月担当制で随時)を行う。今後ホームページ掲載原稿にはすべて掲載期限をつけて掲載する。(削除の時期)</li> <li>3)編集作業のマニュアルをより良いものに随時更新していく。(係員誰もが担当できる)</li> <li>4)三部会だよりを年3回発行(7・11・3月) <ol style="list-style-type: none"> <li>①掲載内容にタイムラグが生じず、適切な時期に情報を伝えられるように、各委員にイベント報告や研修会報告など随時ホームページへの掲載や SNS 掲載を提案していく。</li> <li>②郵送希望は現在 21 名。郵送必要な方には引き続き郵送は続けていく。</li> </ol> </li> <li>5)ホームページの検索数をのばす <ol style="list-style-type: none"> <li>①ホームページ検索状況の調査をする</li> <li>②チラシを作成し助産師会とホームページのPRをし、助産師学校や市町村など配布する</li> <li>③助産所のホームページなどにリンクを依頼する。</li> </ol> </li> </ol> |    |



|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>SNS チーム</p> <p>1. 目標</p> <p>当会活動内容及び専門的な情報発信を行う</p> | <p>1.計画</p> <p>1)当会の活動状況や内容をタイムリーに発信する</p> <p>2)各部会・委員会・係りから依頼があれば連携して発信を行い、必要時各部署へ投稿の提案をする</p> <p>3)チームで投稿を企画(助産所紹介、助産師紹介、ブログ、妊娠出産育児や母子に関する最新情報など)</p> |  |
|--|---|--|

2023 年度 事業計画

教育委員会

目的 助産師の専門職業人としての能力を維持・向上させ、各部会が求める専門性の高い知識・技術を習得できる研修を企画開催する。

| 目標  | 計画・具体策   | 評価 |
|---|--|----|
| <p>1. 助産師としての資質を高める研修を企画・開催し、より多くの参加を募る。</p> <p>2. 産後ケアの法制化に伴う必要な指定の研修会を企画・開催する。</p> <p>3. 研修会の周知を行い参加者の増加を図る。</p> <p>4. 円滑な研修会を開催する。</p> | <p>1.-1) 継続的・長期的視野で、又会員の要望する研修会を企画・開催する。(各部会で検討)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務部会 子宮頸癌(CIoCMiP 研修)・産後ケア</li> <li>・助産所部会 ①離乳食②小児の食物アレルギー<br/>(選択研修・産後ケア研修①・③)<br/>女性の生きづらさ(選択研修)</li> <li>・保健指導部会 産後ケア(選択研修・産後ケア研修⑥)<br/>育休制度と父親支援(選択研修・産後ケア研修⑦,⑧)</li> <li>・役員会 奈良県必須研修 女性の人権(選択研修)</li> </ul> <p>選択研修 4 講座・CIoCMiP1 講座を含む合計 6 講座を予定 ⇒ 資料② 2022 年度研修計画表参</p> <p>2.-1) 日助指定の産後ケア研修<br/>該当研修 3 講座</p> <p>3.-1) BAND、日助の一斉メール、奈助インスタグラムを工夫し、周知だけでは無く、参加・申込みがしやすい様にする。</p> <p>4.-1) コロナ感染の規制緩和に伴い、感染対策しながら、ハイブリッド研修の導入を図る。</p> <p>-2) 研修会を円滑に開催する為に、各部会との連携を取り、その都度教育会議で検討を行う。<br/>情報の共有・統一を図る為に、「研修計画依頼書」を工夫し、活用する。</p> <p>-3) 日助会員システムを利用した研修導入の検討</p> |    |

# 奈良県助産師会 2023年度 研修計画

6/3 当会総会 7/ 母性衛生学会 10/13・14 近畿地区研修

2023.4.26.更新

|   | テーマ  | 講師名  | 日程                           | 場所                 | 参加費                                    | 申込開始締切                  | 担当部会       | 備考   |
|---|--|--|------------------------------|--------------------|--|-------------------------|------------|--|
| 1 | ①保健指導に活かせる授乳・離乳の新常識 ~授乳・離乳の支援ガイドに基づく~<br>②小児の食物アレルギー     | ①阪奈中央病院<br>小児科医 石川知美先生<br>②なんぶ小児科アレルギー科<br>小児科医 南部光彦先生   | 2023.5.20(土)<br>13:30~16:30  | オンライン<br>録画視聴あり    | 会 員 3,000円<br>非会員 5,000円<br>学 生 1,000円 | 2023.4.8~<br>2023.5.6   | 助産所        | アドバンス助産師更新<br>申請要件の選択研修<br>「産後ケア実務助産師研<br>修」①、③に該当                     |
| 2 | 具体的な産後ケア参入への準備<br>と乳房管理                                  | みやした助産院<br>院長 宮下美代子先生                                    | 2023.6.24(土)<br>13:30~16:30  | オンライン              | 会 員 3,000円<br>非会員 5,000円<br>学 生 1,000円 | 2023.5.13~<br>2023.6.10 | 保健指導<br>勤務 | アドバンス助産師更新<br>申請要件の選択研修<br>「産後ケア実務助産師研<br>修」⑥に該当                       |
| 3 | 看護職による子宮頸がんの予防と<br>検診                                    | 京都橋大学 看護学部<br>准教授 工藤里香先生                                 | 2023.8.19(土)<br>13:30~16:30  | オンライン<br>録画視聴あり    | 会 員 3,000円<br>非会員 5,000円<br>学 生 1,000円 | 2023.7.8~<br>2023.8.5   | 勤務         |  |
| 4 | 父親支援<br>①どうなってるの？パパの産休・育休<br>②お父さんの最強の応援団になる             | ①奈良県女性活躍推進課<br>主査 山中裕香<br>②NPO法人 新座子育てネットワーク<br>代表 坂本純子氏 | 2023.9.30(土)<br>13:30~16:30  | オンライン<br>録画視聴あり    | 会 員 3,000円<br>非会員 5,000円<br>学 生 1,000円 | 2023.8.19~<br>2023.9.16 | 保健指導       | アドバンス助産師更新<br>申請要件の選択研修<br>開業助産師ラダーⅠに<br>該当<br>「産後ケア実務助産師<br>研修」⑦・⑧に該当 |
| 5 | 奈良県助産師会必須研修<br>女性の人権 DVについて<br>~DVって私は大丈夫と思わないでくだ<br>さい~ | 奈良地方法務局人権擁護課<br>課長 井上卓郎氏                                 | 2023.11.18(土)<br>13:30~14:30 | ハイブリッド研修<br>録画視聴なし | 会 員 1,500円<br>非会員 3,000円<br>学 生 500円   | 2023.10.7~<br>2023.11.4 | 役員会        | アドバンス助産師更新<br>申請要件の選択研修<br>開業助産師ラダーⅠに<br>該当                            |
| 6 | NBMと女性のいきづらさ   | 小池病院<br>医師 中井祐一郎先生                                       | 2024.1.20(土)<br>13:30~16:30  | ハイブリッド研修<br>録画視聴あり | 会 員 3,000円<br>非会員 5,000円<br>学 生 1,000円 | 2023.12.9.~<br>2024.1.6 | 助産所        | アドバンス助産師更新<br>申請要件の選択研修  |
| 7 | 災害研修   |  |                              |                    |  |                         |            |  |

## 2023 年度 事業計画

## 組織強化委員会

目的 個人情報に安全に管理し、個人情報の安全・助産師の専門職団体であることをアピールし新規の会員確保に努める

| 目標   | 計画・具体策   | 評価 |
|--|--|----|
| <p>1. 組織強化委員だれもが個人情報の管理を安全に確実にできるように組織管理業務マニュアルを作成する</p> <p>2. 会員数の増加に努める</p> <p>3. 賛助会員の像に努める</p> | <p>1. ① 組織管理業務マニュアルの作成<br/>② 出来上がったマニュアルをもとに業務を行いマニュアルの改善を図る<br/>③ 個人情報管理に関する研修に参加する<br/>④ 紙ベースによる情報のやり取りを極力減らすとともに紙ベースの情報の処理についても検討しマニュアルに明記する<br/>⑤ 現在までの紙ベースの情報を安全に処理する</p> <p>2. ① 研修会など対面でのイベントの機会に入会を勧める<br/>② 看護協会の復職支援セミナーなどの機会も利用させていただき入会を勧める<br/>③ 過去の退会理由をもとに会員確保に必要なことを探り実行に移していく<br/>④ 三部会だよりを利用して新規の会員確保や退会を思いとどまれるように努める</p> <p>3. ① 現在の賛助会員に継続してもらえるように努める<br/>② 奈良県助産師会をアピールしていける機会を見つけ(本部総会など)賛助会員の案内をする<br/>③ 賛助会員の入会基準やメリットを明文化する</p> |    |

## 2023 年度 事業計画

## 安全対策係

目的 会員の安全意識と会全体の安全文化の向上業務環境の安全管理

| 目標   | 計画・具体策  | 評価 |
|--|---|----|
| <p>1 会員の安全意識及び安全文化の醸成<br/>(1).安全対策スキルアップを図る</p> <p>2 リスクマネジメントの知識を高める<br/>1) インシデント、アクシデント事例のケースカンファレンスの実施</p> | <p>1.<br/>1) 安全管理研修会への参加<br/>(役員会と共同で年二回実施)<br/>2) NCPR 実技のブラッシュアップ講習会への参加<br/>3) 産科的危機出血への対応、胎児心拍モニタリング講習会の参加<br/>4) 県総合周産期センター及び地方周産期センター主催の研修会への参加<br/>5) 個人情報漏洩防止<br/>(1) 各部会における個人情報取り扱いマニュアルの徹底</p> <p>2<br/>1) リスクマネジメント知識習得の手段としての奈良県医療安全推進センター主催研修への参加を促す<br/>2) 保健指導部会のインシデント・アクシデント報告のまとめとフィードバックの実施<br/>3) 助産所部会では異常、転院報告の IT 登録実施<br/>4) 異常・転院事例の症例検討を年 2 回実施する<br/>(自主的な事例提供を依頼し、まとめた事例は匿名とし、安全対策係が読み上げる形式で行う)<br/>5) 助産所部会のインシデント、アクシデント報告の方法について再考する(安全対策委員会も含めた検討)</p> |    |

2023 年度 事業計画

災害対策係

目的 助産師会として、他職種と連携し災害対策予防行動、災害発生時の対処行動ができる

| 目標   | 計画・具体策  | 評価 |
|--|---|----|
| <p>1. 助産師会として役割を考え、災害対策予防行動、災害発生時の対処行動を実行でき、県下の他職種と連携し母子支援について考えることができる</p> <p>2. 災害設定についても奈良県の被害想定を検討し対処を検討できる</p> <p>3. 会員用災害マニュアル完成し、会員活動が奈良県下での母子の防災・減災について行動できるよう啓蒙する</p> | <p>1. 委員会活動</p> <p>1) 年 6 回の委員会の開催</p> <p>2) 年 1 回の近畿地区合同委員会の参加</p> <p>3) 本部研修会・連携集会への参加</p> <p>4) 本部と連携した近畿圏の災害対策会議への参加</p> <p>2. 奈良県下の母子に対して災害対策・減災について啓蒙</p> <p>1) シェイクアウト訓練の参加</p> <p>自助・共助の意識を高められるように訓練する。各自が地域とのつながりを深める</p> <p>2) 奈良市総合防災訓練に参加(10/29 避難所訓練)</p> <p>3) 奈良市危機管理課との会議参加(2 回/年)</p> <p>4) 奈良市の協定締結に向けて勉強会(コアメンバー)</p> <p>3. 奈良県下の母子災害支援について考え行動できる</p> <p>1) 市と連携し他職種参加する広域災害訓練に参加。会員助産師参加を促し、母子支援について、参加を通して考えることができる</p> <p>2) 奈良市と災害協定を結ぶよう働きかける</p> <p>4. 災害マニュアル改定 本部承認後IP掲載</p> <p>1) 委員会活動内で会員用災害マニュアル検討を行う</p> <p>2) 災害協定締結にむけて、奈良県助産師会の災害時の役割を明確にした災害マニュアル明記</p> |    |

## 2023 年度 事業計画

## 健康教育係

目的 目的1：安全で対象者のニーズに応じた、より良い出前講座の開催を行う。目的2：講座担当者の確保に努め、研鑽による講師力の向上をはかる

| 目標   | 計画・具体策   | 評価 |
|--|--|----|
| 1.<br>1) 感染対策の順守<br><br>2) 個人情報の保護<br><br>3) 教材の整備と保守管理<br><br>4) マニュアルの整備<br><br>5) ニーズの把握・評価<br><br>2.<br>1) 広報等による周知・募集<br><br>2) 他団体の研修会への参加 | 1.<br>1)- (1) 感染予防マニュアル順守はかるため担当者会議で周知する<br>1)- (2) 感染対策物品の確保・管理を行う<br>2)- (1) 個人情報保護に関する会の研修会を受講勧奨する<br>2)- (2) 公文書ならびに報告記録の確認と保管管理を行う<br>3)- (1) 講座後の点検、必要時には修繕を実施<br>3)- (2) 教材使用予定、所在(受け渡し・返却)の把握<br>3)- (3) 教材の整備を行う：布教材の再作成(妊婦ジャケット)<br>4) 各種マニュアルについて随時情報の見直し・改訂を実施<br>5) 講座後アンケートの集計・評価から、ニーズの把握と講座内容の改善点を模索する。<br><br>2.<br>1) 会員へ、HPや三部会だよりによる活動内容の周知・講座見学の勧奨など広報を行い講座担当者の確保につなげる<br>2) 日本家族計画協会等、活動に関連する他団体の研修会への参加勧奨・助成を行い、学びの共有など研鑽できる機会をつくることで講座担当者の育成や講師力向上をはかる |    |

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p>3) 講座担当者間の交流</p> <p>4) メイン講師の維持・確保</p> | <p>3)-(1) 担当者 Band 活用や担当者会議での情報共有時間を確保する</p> <p>3)-(2) 交流会(仮称)開催により情報や経験・知識の共有をはかり、講師力の向上、モチベーション維持につなげる</p> <p>4)-(1) 活動中のメイン講師数(6名)を維持しつつ、さらなるメイン講師の育成・確保に努める</p> <p>4)-(2) 依頼先との調整を行うとともに、講座開催に関する作業内容等の改善を模索し、講座担当者の負担軽減を図る</p> |  |
|---|---|--|



## 2023 年度 事業計画

## 子育て支援係

## 目的

## 子育て世代への多様化する支援・役割を担う

| 目標  | 計画・具体策   | 評価 |
|---|--|----|
| <p>1. 子育て情報の定期的更新と最新情報の発信</p> <p>2. 子育て情報発信を SNS チームと連携して実施</p> <p>3. 企業、行政、地域、学校現場などからの子育て支援に関する講座やイベントの受託</p> | <p>1.</p> <p>1) 当会ホームページの子育て Q&amp;A は情報が変更時及び年 4 回のチーム内協議において最新情報にする</p> <p>2) 夫またはパートナー向けの新たな Q&amp;A の掲載</p> <p>3) 助産所マップは掲載・更新依頼時すみやかに対応</p> <p>2.</p> <p>1) 現在助産所マップ掲載中の助産所に協力を得て、当会 Instagram に新たな助産所情報を掲載していく<br/>(写真の更新、動画を入れる等投稿内容をアップデート)</p> <p>2) 新たに当会ホームページに掲載した子育て情報を、SNS 上でも発信できるよう文章や写真を作成する</p> <p>3) 当会 Instagram にシリーズ化した情報発信<br/>(妊娠出産編、母乳育児編、ママの気持ちの変化など)</p> <p>3.</p> <p>1) 奈良市工務店(株)ライフスケッチにて「子育て相談会」「幼児期からの性教育」に関する子育て講座の実施<br/>(令和 5 年 3 月依頼→4 月実施予定)</p> <p>2) 妊娠出産、育児、親子関係、親役割など安心して子育てできる内容の講座やイベントを依頼先へ提案。<br/>講師は会員より募集。</p> |    |

## 2023 年度 事業計画

## 委託訪問係

目的 母子とその家庭に適切な支援ができる。一定レベルの指導員を各市町村に提供するとともに、指導員がそれぞれの母子のニーズに合った支援を円滑に遂行できるように各市町村と連携ができる。

| 目標   | 計画・具体策   | 評価 |
|--|--|----|
| <p>1. 市町村との委託事業継続のためのマンパワーの確保に務める。</p> <p>2. 指導員の質の向上を図る。</p> <p>3. 指導員全員が個々の研修受講状態や会議の出席状態を自己管理できるシステムを構築する。</p> <p>4. 委託契約市町村との契約を円滑に遂行できるように会と委託市町村との連携を図る。</p> | <p>1. HP の活用。現会員から会員外の潜在助産師の発掘を行う。部会集会を活用し指導員全体の交流を活性化する。</p> <p>2. 部会集会で指導員が現状や困っていることを毎回発言できるように保健指導部会長との連携を図る。</p> <p>1) テーマを出しながら、個々が発言できることで、知識向上を図る。</p> <p>2) 現在はリモート会議であるが、感染対策を行いながらハイブリッド会議も検討し、指導員同士の交流を行う。</p> <p>3. 指導員申請書の改訂を行い、自己申請が 12 月と 3 月に内容を変えて指導員が使用しやすいようにする。</p> <p>4. 委託契約市町村会議に出席し、市町村と指導員との指導業務内容の把握・議案について把握し、会からの伝達時間を設けてもらい話し合いの場とする。</p> <p>1) 上記の準備は委託市町村リーダー指導員と、委託訪問係が事前に準備する。</p> <p>2) 次年度契約書は必ず 12 月中に委託契約市町村に提出依頼し、会長に 1 月初旬に提出。問題がないかを 2 週間後に確認し、問題がなければリーダー指導員から委託契約市町村に本契約書作成依頼をする。</p> |    |

|                                  |   |  |
|----------------------------------|---|--|
| <p>5. 個人情報の保護</p> <p>6. 感染管理</p> | <p>5. 訪問対象者の個人情報遵守のため、契約書に添付されている個人情報保護の把握と契約書は常に確認できる状態にするように部会集会を利用し啓発する。</p> <p>6. 今年度は感染管理についても変更があると予測される。変更時は必ず委託訪問係に報告をリーダーから受け、会の安全対策委員と情報の共有を図る。</p> |  |
|----------------------------------|---|--|

2023 年度 事業計画

不妊相談センター

目的 不妊,不育悩む女性やその家族の悩みに寄り添い、不妊に伴う悩みに対応できるよう支援する

| 目標   | 計画・具体策   | 評価 |
|--|--|----|
| <p>1. 治療に伴う悩みや専門的な相談や人生相談に対応できるための研鑽を深める。</p> <p>2. 不妊相談センターについて、会員、県民への周知に努める。</p> <p>3. 個人情報の保護に努める。</p> | <p>1.</p> <p>1) 不妊関連の研修会に積極的に参加し、知識理解を深める。</p> <p>2) メンバー間の情報共有のため メンバー間の情報交換を活発に行う。<br/>研修会報告、県担当者との情報交換会を開催する</p> <p>3) 電話相談以外にメール相談の対応について具体的な方法を検討をする。</p> <p>4) 最新治療法、健康保険適用など法改正に伴う相談、不妊相談に関連した性の相談に対応できるよう知識理解を深める。</p> <p>2. 公報等を利用し、相談センターの周知をはかる。</p> <p>3. 個人情報保護規定にもとづき、相談者の個人情報保護に留意する。</p> |    |